

令和6年度 第3回学校運営協議会 議事概要

1 日時 令和7年2月12日(火) 開会 10時00分 閉会 11時30分

2 場所 岡山県立玉野高等学校会議室

3 出席者 委員 五老海 正 登 委員 東 り え
委員 大 川 佳 郎 委員 琵琶 学
委員 大 倉 明 委員 藤 原 直 之
委員 河 田 いづる 委員 山 根 一 人
委員 栗 林 太一郎 委員 山 本 育 子
委員 二 宮 崇 委員 山 本 和 音 (敬称略)
委員 藤 原 修 (校長)

事務局 教 頭 藤 田 美 絵
事務部長 佐 藤 和 志
主幹教諭 寺 岡 俊 之
指導教諭 川 俣 真砂美
指導教諭 竜 門 巧
指導教諭 岡 本 崇 志
高校CN 西田井 祐 也

4 議事の概要

開会

(1) 説明

事務局担当者から、生徒・保護者・教職員対象の学校自己評価アンケート結果と学校経営目標の最終達成状況及び評価についてそれぞれ説明した。その後、主幹教諭と高校コーディネーターが今年度の総合的な探究の時間の1年次での主な取組(ミッションdeポッシブル)について説明した。

校長が令和6年度のグランドデザイン、学校経営計画について説明した。加えて、地域との協働・連携に係る取組や令和6年度以降の具体的な取組の進捗状況、今後の計画について説明した。

(2) 意見交換

校長及び事務局からの説明、「総合的な探究の時間(ミッションdeポッシブル)」等の取組について、各委員で意見交換・感想を行ったのち、意見が交わされた。

○「ミッションdeポッシブル」について

- ・とても魅力的な言葉があり、生徒たちは惹きつけられるのではないかな。
- ・先生と一緒にワクワクするのが生徒は好きだ。生徒が実際に活動して、自分が「経験している」実感を持っている。
- ・チラシにあるフレーズ「自分の中にある『できそう』に出会うため」というのは、『できそう』という部分に生徒たちの知的好奇心をくすぐるのではないかな。
- ・新しい取組は私たちが子供のころにはなかった。「羨ましいな今の子供たちは」という思いが素直にする。こういう内容はもっと外に発信してほしい。
- ・「ミッションdeポッシブル」は大変面白かった。生徒はワクワクするだろうが、企業側としてもドキドキしながらワクワクして帰った。生活の中が「体験」であり全てが「探究」であり「学び」であるスタイルは、生徒たちに投げかける言葉ではあるが納得できた。ぜひ地域と共に、生徒たちがより良い学びができるような学校になればいいと思う。先生方が頑張って作られたこの取組を、生徒たちが誇りに思うような形で、地域の人たちにも示して頂けたらと思う。
- ・地域貢献できそうな取組をされているのは素晴らしい。探究心を持って勉強することを教育の中で忘れてはいけない。本当に深く掘り下げようとする教育を極めないといけない。教育の中でアクティブラーナーを作り、様々な企業に就職した時に様々な手立てを持てるようにする。様々なものを持てるからこそ自信を持って働けるので、本当の自分の武器を作るのは教育の指導ではないかな。

(3) 協議

校長及び事務局が示した、令和6年度の最終評価と令和7年度のグランドデザイン及び学校経営計画、具体的な取組の進捗状況について協議し、異議はなく、原案どおり承認された。

閉会